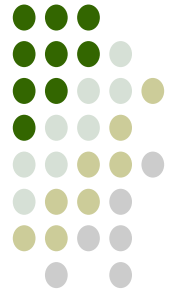


愛治自治会だより

第81号



発行日
令和4年3月1日

ここに注目！

- 令和3年度はこんな年でした！
(6～7ページ)
- ピックアップ 清水保育所統廃合に向けて
(10～11ページ)

目次:

1年間のお礼	1
令和3年度自治会総代名簿・事業計画	2
令和3年度予算書	3
令和3年度行事報告	4
愛治地区町有林管理組合事業経過	4
愛治公園の管理について	5
令和3年度はこんな年でした！	6
町長陳情報告	8
愛治地区座談会	9
秋祭りとはんどんど焼き	9
PICK UP! 保育所統廃合に向けて	10
まごころ銀行ご寄附のお礼	12

一年間のお礼

愛治自治会長 片山 洋



前のように地域の皆さんとの活動が増えきたらと思っています。

さて、愛治は豊かな自然と優しい人間味にあふれた地域であると思います。

令和3年度、自治会長を任されておりました生田の片山です。

(子供たちの元気なあいさつ、大人の方のきさくな会話等々・・・)しかし、四年前の西日本豪雨で愛治のあちこちで山が崩れたり、川の流れも変わったりしたこと、残念でたまりません。

愛治に帰ってきて十六年になります。そのため、お顔とお名前が一致しないことも多々あります。新型コロナウィルスの影響で自治会、学校行事など中止や活動が制限されていることも有り残念に思います。

しかしワクワクン接種も進み、少し希望が出てきました。以

今後変わる愛治になるように清掃ボランティア活動をしたり、小学校とも連絡をとり子供たちの成長を見守っていきたいと思います。避難所施設である

公民館施設の老朽化、保育所の統廃合など地域課題もさまざまありますが、公民館と協力しながら各区長の皆さんと一年間活動してまいりました。今後地域の中で役目を果たしながら地域の一員として尽力してまいります。

広見川一斉清掃の日の様子。草刈りをする人と集会所の草引きをする人。役割分担です。



令和3年度 愛治自治会総代名簿

自治会運営委員

自治会長	片山 洋
自治会副会長	松岡 長造
会計	清家 基憲
顧問	芝田 正文
運営委員	岡本 福三
〃	濱田 寛之
〃	芝 祥二
〃	二宮 功夫
〃	芝 美紀
町議会議員	松浦 司
町議会議員	末廣 啓
3年度区長	境 基司
〃	奥野 省三
〃	橋本 定典
監事	芝 幸男
〃	岡田 直美
〃	高田 三男

各 部 落・各 組 役 員

	区長 (前区長)	組 長	女性役員
大宿	松岡 長造 (高田 國重)	兵頭めぐみ	渡邊 次枝
		岡本 福三	兵頭 美奈
		菊地 栄三	二宮 順子
		渡邊 豊和	渡邊 美鈴
		岡本 一幸	芝 美代子
		小原 勝	清家 京子
生田	片山 洋 (清家 基憲)	濱田 寛之	宇都宮純子
		岩井 幸象	有馬多恵子
		清家 基憲	渡邊やす子
清水	境 基司 (古谷 榮)	古谷 榮	高村ひろみ
		芝 祥二	清家 春子
		末廣 啓	西野 仁海
		芝 幸男	谷口 恵子
畔屋	奥野 省三 (芝田 正文)	毛利 達也	岡田 直美
		渡辺 誠	芝 ふみ子
		二宮 功夫	松藤 洋子
西野々	橋本 定典 (芝 三展)	高田 三男	渡邊由美恵
		小川 正典	芝 早苗
		芝 和孝	芝 美紀
		芝 三展	渡邊美代子

各種団体長等

町議会議員	松浦 司
町議会議員	末廣 啓
愛治公民館長	末廣 健
愛治小学校長	古谷 孝
愛治小PTA会長	清家 一男
広中PTA代表理事	高田 直子
町有林管理組合長	藤城 英秋
農協愛治支所長	平野 隆志
清水郵便局長	古用 敏
交安協愛治支部長	谷口 久雄
町老連愛治支部長	山本 守
健康を守る会会長	片山 洋
消防団第三分団長	松浦 宏明
体育振興会会長	岡本 学
民生児童委員代表	芝 ふみ子
来夢会長	末廣 啓
母愛夢会長	渡邊 良子
保育所保護者会長	古用 敏
保育所長	市山 陽子
連絡所長	善家 恵美



令和3年度 愛治自治会 事業計画

1. 愛治地区の課題の推進

- ①若者の定住促進
- ②集落排水施設への接続及び浄化槽整備の推進
- ③環境問題（ゴミ・河川美化）への意識高揚
- ④愛治地区内の交通道路の整備促進
- ⑤愛治ふるさと館の整備と活用
- ⑥裏山等、土砂崩れ災害防止への取組み
- ⑦町営バスの適正な運行体制への取組み

⑧新たな公共交通についての検討

- ⑨頻発する自然災害に対する意識高揚
- ⑩Uターン・Iターン等移住促進への取組み
- ⑪小学校存続への取組み

2. 心豊かなふる里づくり

- ①健康問題への取り組みの促進
- ②独居老人への気配りの促進
- ③花いっぱい運動の促進
- ④伝承事業の維持促進
- ⑤地域環境の整備

3. 地域の担い手の育成

4. 青少年の健全育成

5. 女性活動の推進

6. 生活改善の推進

(お見舞いのお返し等の廃止)

7. 自治会だよりの発行

(年2回)

8. 愛治地区各種恒例行事への協力・援助



令和3年度 愛治自治会 予算書

【収入の部】

(単位:円)

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
繰 越 金	324,920	226,855	98,065	前年度繰越金
会 費	221,600	225,600	▲4,000	800円×277戸
助 成 金	140,000	140,000	0	管理組合助成金、町委託料
雑 収 入	480	545	▲65	利子等
寄 付 金	20,000	20,000	0	ふれあい祭り寄付金
計	707,000	613,000	94,000	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
事 務 費	50,000	50,000	0	はがき・切手・消耗品
会 議 費	10,000	10,000	0	
旅 費	5,000	5,000	0	
役 員 手 当	40,000	40,000	0	会長20,000円、副会長10,000円、会計庶務10,000円
事 業 費	280,000	250,000	30,000	愛治ふれあい祭り 95,000円 ふるさと館整備費 50,000円 PTA研究集会 50,000円 愛治公園関係 40,000円 自治会だより 45,000円
助 成 金	120,000	120,000	0	愛治夏祭り 50,000円 敬老行事 50,000円 健康を守る会 20,000円
光 熱 水 費	6,000	6,000	0	愛治公園関係
予 備 費	196,000	132,000	64,000	
計	707,000	613,000	94,000	

令和3年度 自治会関連行事報告

年	月	日	曜日	行事・イベント名	場所	備考
3	11	3	水	愛治地区秋祭り	愛治地区内	文化の日
	11	7	日	愛治ふれあい祭り	愛治公民館	
	11	28	日	愛治地区PTA研究集会	愛治小学校	
4	1	9	日	愛治地区どんど焼き	清水郵便局裏	
	2	19	土	第1回愛治地区座談会	愛治公民館	
	3	19	土	第2回愛治地区座談会	愛治公民館	

さまざまは行事が昨年度と同様に中止となりました。皆さんと話をしたり、スポーツを楽しんだりする機会がなく、お顔を見なくなった方もおられるため「お元気でられるか」と心配しております。顔の見える行事は本当に大切ですね。

愛治地区町有林管理組合 事業経過について

—第66回通常総会を書面会議で開催—

去る6月11日に開催されました愛治地区町有林管理組合役員会において、第66回通常総会について書面会議とすることが決定され、各役員を通じて組合員による審議、議決書提出が行われました。

議案内容については、令和2年度事業報告・収支決算、令和3年度事業計画・収支予算が提案され、組合員296名中、246名の提出があり全会一致でそれぞれ承認されまし

た。

令和3年度については、カタギヤスバ他約10haの間伐をおこない、また、作業道ウシノネヤ線については、延長506m、面積1,519㎡の改良工事が行われました。

8月8日山の日には、役員により下刈作業と水路清掃が実施し、3月5日には改良工事が完了した作業道の確認とクヌギ・ケヤキ・サクラの植樹を行いました。



愛治地区町有林管理組合を若い皆さんはご存知でしょうか。皆さんのお父さんやお爺さんたちが学生のころから山へ上がり、植樹や下刈り作業を頑張っていたこと、現場まで何十キロも歩いて、道具はク

ワヤカマなど電動などありませんでした。そうやって守ってきた山をなぜこれからも守っていくのか、若い世代に引き継がれていく町有林の歴史を語り合う場があるといいですね。この話はまた次の機会に。



山が美しい。田畑が美しい。人がやさしい。季節折々の変化を感じながら、山に抱かれ、太陽に照らされ毎日呼吸する。当たり前は当たり前ではなく、自然が生み出し、誰かが作り出し、代々守り続けたからこそ、私たちは当たり前のものに安心していられる。次は、私たちの番だ。未来へ繋いでいく、ふるさと愛治。

愛治公園の管理について

愛 治公園の清掃を毎年2回、近年は区長5名と愛治公民館職員で行っています。今年度は、11月と3月に実施し、草刈りや樹木の剪定などを行いました。

この愛治公園は、昭和53年に完成した老人保養センターとともにその裏山にサクラ等を植樹し、毎年計画的に遊歩道や東屋、地四国88か所奉祀仏の設置などをおこない、「信仰の霊地・憩いの楽園」となるようお願い完成した公園です。当時の愛治では「ふるさとづくり」が盛んに行われており、後世に残された資料等でその思いを感じることができます。

しかし、40年以上経過し、愛治公園を訪れる人は減り、その存在すら忘れられているかのように……。木々が生き茂り、遊歩道の一部は歩くことすらできなくなっています。昭和60年頃に設置された小学生手作りの石地蔵（正しい名前は異なるかもしれませんが）は台座が朽ち、顔を描いた平たい石が所々に落ちています。鹿や猪の被害も見られ、どうかこの美しい桜や地四国を備えた公園が再度「憩いの場」にならないか、区長会等で話し合ってきました。今年度は現地確認と町に対して支援をお願いするにとどまりましたが、引き続き皆さんと一緒に復活させることができたら…と願っています。

愛治公園には桜200本、山茶花400本、その他の花木500本が植栽されています。

今年も桜が咲く時期になりました。



病氣見舞いのお返し（内祝）廃止を 愛治地区全体で進めよう！

愛治自治会では、『病氣見舞いのお返しの廃止』を地区全体で進める運動に取り組んでいます。お返しを廃止して、退院、回復の状況のみに切り替えましょう。

お返しをして感謝の気持ちを伝えたいということは、皆さん方共通のお考えだと思いますが、これに十分にお気持ちは伝わると思いますが、地区の皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

※左記の内容のお見舞い袋に入れるカードを用意しています。必要な方は、公民館まで取りにおいでください。みんなでの運動を進めましょう。

お返しの心づかいはありません

愛治自治会では生活改善の一環として、お見舞い等のお返しの廃止を地区全体で進めています。

つきましては、このお見舞いにはお返しの心づかいはありませんので、ご配慮をお願いいたします。

愛治自治会長

令和3年度はこんな年でした！

— ふるさと愛治の文化祭 愛治ふれあい祭り —



愛 治ふれあい祭りは今回で24回目となりました。11月7日（日）朝9時から愛治公民館の駐車場でステージ発表と即売会、公民館の中で展示会を行いました。

澄み渡る青空の下で、北宇和高校吹奏楽部の華やかな演奏、ダンスチーム広蓮の元気なダンスを楽しみ、地元住民有志による即売会や北宇和高校のクッキーや花苗販売、母愛夢さんのフリーマーケットや焼き芋実演販売で地区内外から多くの方がお買い物をされていました。来夢さんのお馴染み豪華景品付きダーツやくじ引きでは、子どもたちが何度も挑戦し、狙った景品

を勝ち取ったときには大きな歓声が上がりました。また、今回初めて、愛治小学校児童有志による“あいじ寺子屋”の出店があり、子どもたちが接客やゲームの説明をする姿が印象的でした。

終了後、会場準備時の半分以下の時間で撤収することができたのも、会場におられた地域の皆さんが声を掛け合って、ご協力いただいたおかげです。（準備は大変やったのに片づけは早いなあ、と館長さんが笑っていました）

“チーム愛治”の団結を感じました。ありがとうございました。来年はもっとたくさん楽しみましょう！



心のこもった演奏



景品つきゲーム大盛況！



すばらしい作品の数々



前夜祭の花火



— 愛治地区敬老の日 —



式典や演芸でお祝いをする敬老行事は中止となりましたが、10月27日

(水)、71歳以上となる方を対象に町内の仕出し料理をお届けしました。記念品は長寿を願う「亀の水引」をあしらった飾りものです。この飾りは、地元有志の方9名により約2か月前から少しずつ手作りされました。

皆さんが健康で笑顔の日々を送れますように願っています。



— 愛治地区PTA研究集会 「地区ぐるみで良い教育環境を」 —



第39回愛治地区PTA研究集会が11月28日(日)愛治小学校で開催されました。

“地域とともにある学校づくり”を進める法律に基づいた地域コミュニティ・スクールという取り組みを実践している愛治小学校。その道の専門家である愛媛大学大学院特定教授の遠藤敏明先生をお招きして、「子どもが輝く学校と地域in愛治」をテーマに講演いただきました。

同日開催の小学校総合学習発表会においても、地域について学んだ学習内容を低・中・高学年に分かれて発表されました。こういった学習を通じて、子どもたちは「地域を愛し誇る心」が養われ、地域の方々にとっても学校への関心が高まる効果がある、と講演の中で語られていました。

— ふるさと館整備委員会活動中 —



ふるさと館には歴史を知ることができる昔の生活用品や民芸品などが展示されていますが、毎年町内小学生が学習のため訪れます。今年は近永小学校3年生と泉小学校3・4年生が来館しました。整備委員による説明を真剣に聞き入っていました。



— 国道441号線桜峠新設道路開通記念交通茶屋 —



サクラントウに新しい道が建設され片側1車線、カーブの少ない道路を安全に通行するが可能となりました。

令和4年2月1日開通の記念に自治会・交通安全協会愛治支部・鬼北交番・公民館合同で交通茶屋を行いました。通行車両35台に交通安全啓発として手作りの「桜ストラップ」を配りました。事故のないよう“思いやり運転”を心がけましょう！



令和3年度愛治地区町長陳情報告

今年度の愛治地区町長陳情を、2月24日、役場にて行いました。片山自治会長をはじめ、各地区区長、町有林管理組合長、町議、計9名が地区の要望書を提出しました。

町からは兵頭町長をはじめ9名の出席があり、次の通りの回答を受けましたのでご報告します。

記

1 愛治地区内交通道路の整備促進について

(1) 国道441号新設道路における道路標識・街路灯の設置及び桜植栽

《回答》

本年度末までにガードレールに取り付ける「線形誘導標識」を設置。急こう配に対する警戒標識については来年度以降の設置見込み。道路照明については設置基準外である。桜植栽を道路管理者でおこなうことはない。

(2) 国道・県道の道路改良、舗装及び区画線の整備

《回答》

国道441号清水区間については道路構造令の基準に基づき2車線道路改良が完了している。現在は非改良の大宿区間に取り組んでいる。

舗装道路の凹凸面修繕や

区画線の引き直しは優先度の高い箇所から対応する。

(3) 町道の改良、舗装工事の促進

《回答》

要望個所が多いため、中期行財政計画に基づき事業を実施している。町道久保川線は、事業実施の目的がたつた時点で具体的な内容を地元へ周知する。町道天満線は、用地の提供を確認でき次第、関係者の皆さんと協議させていただきたい。

2 内山町有林展望台のトイレ設置と観光誘致について

《回答》

作業道ウシノネヤ線舗装工事がまもなく完了することから、登山者の増加を期待しているが、一方で不法投棄などが施設の周辺環境・自然環境が損なわれないか危惧している。当施設については来年度の増加につながる観光資源の一つとして期待している。トイレ設備等整備にかかる事業費一部助成など観光施設整備補助

事業の創設など令和4年度に検討していく。

3 旧愛治中学校体育館の改修及び愛治公民館移築について

《回答》

旧中学校体育館の改修については、現在のところ活用できる国・県の支援制度はないが今後も引き続き検討していく。

愛治公民館については、平成20年度に大規模改修を行い耐震性もあることから地震災害時は対応できると考えている。一方、大雨等の際には、警戒レベル3高齢者等避難以上の避難情報を発令した場合、土砂災害警戒区域に立地しており、避難所として好ましくないが、愛治地区には警戒区域外にある公共施設がない状況。この状況でどう安全を確保するか、避難するか中山間地域では共通の課題となっている。今後は、地元自主防災組織等と連携協議する。移築については平成29・30年度に空調改修を行っており直ちに実施することは困難。

4 清水保育所廃園後の施設利用について

《回答》

統廃合に係る懇談会では地域住民の皆さまにさまざま

まなご心配をおかけしたが、大切な子どもたちを健全に育てるといふ基本的な考え方を共通認識として概ねご理解いただいたこと深く感謝している。廃園後の施設利用については、子育て支援施設をはじめ、有効かつ効果的な利用方法を提案いただき、地域住民の皆さまが充実した日々を過ごせるよう、また地域の発展につながる施設として活用していただきたい。施設の改修や設備投資についてもできるだけご希望に沿う形で取り組んでいきたい。

6 愛治公園の維持管理と観光誘致について

《回答》

愛治公園の遊歩道について現地調査したところ、多くが歩くのにも危険を及ぼす状態であったり、景観を損なう雑木が群生していたりや伐採等の必要性を確認した。現在、改修費用の見積もり中である。

5 愛治小学校をはじめ町内小規模校における交流学習について

《回答》

個々の学校間で交流授業を実施しており、令和3年度は、愛治小学校、好藤小学校が節分の日交流会、好藤小学校と愛大付属小学校によるリモートポッチャ交流会、三島・好藤・日吉小学校による森林教室などがある。少子化が進む現状を踏まえ、交流学習・集会学習・

オンライン学習など複数交流・連携共有した多人数による学習活動を推進している。

当公園内遊歩道は愛治地区有志の方々で整備されたものと認識しているが、来園者の安全面、公園の有効活用、地区外からの交流人口を増やす観光スポットとしての地域活性化も鑑み、地域と相互で協議をさせていただく。





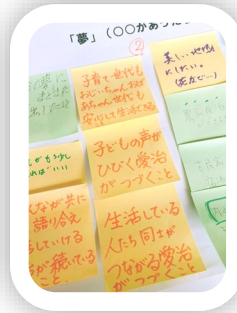
愛治地区座談会「愛治を語ろう！」

「地域のこれからのこと、どんな愛治にしていきたいか、みんなで話す機会があるといいな」との思いから、愛治地区座談会を2月19日(土)に開催しました。参加者は9名と少なめでしたが、1人1人が日頃思っていることを少し話せる機会になったようです。

この座談会はグループワークという手法で行います。テーブルのうえに、紙とペンと付箋紙があります。時間を区切りながら“テーマ”に沿った1人1人の思いを付箋紙に書いて貼っていきます。グループごとに意見をまとめて

発表します。1回目であるこの日は、「愛治はどんなところ?」「愛治の好きなところは?」「愛治でやってみたいことは?どんなふうになったらいい?愛治の夢」がテーマでした。すぐにでもできそうなことから、誰かに助けってもらったらできそうなこと、夢みたいな話だけれど実現したらいいな、という思いまで紙いっぱい溢れていました。

その中で、「地域を探索して魅力を発掘しては?」という意見がありましたので、令和4年度中にできると良いですね。

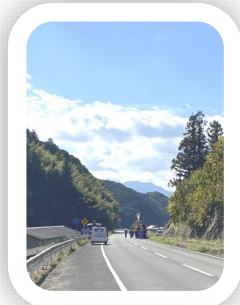


愛治地区座談会へ参加しませんか?

どなたでも参加できます!

- 毎月
第3土曜日
- 13:00~
15:00
- 愛治公民館で
- 毎回参加できなくてもOK!気軽に来れるときにお越しください。

参加申し込みは
↓ ↓ ↓ ↓
愛治公民館まで
46-0001
準備の都合上、ご連絡をいただけますと助かります。



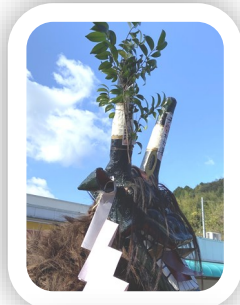
地域の幸せ、皆さんの幸せを願った

「秋まつり と どんど焼き」

令和3年11月3日は、地区秋まつりでした。神事は中止となりましたが、地域活性化集団来夢により牛鬼の練り歩きをおこないました。今年も感染症対策を徹底し、早朝8時に天満神社でご祈禱をしていただき、西野々から清水下組、畔屋から大宿・生田、最後に清水に戻るコースを回りました。各地区の子牛鬼も元気に声をあげていました。

令和4年1月9日は、愛治地区どんど焼きが執り行われました。令和3年1月に復活した“西野々唐獅子保存会”による獅子舞奉納も行われ、正月らしい華やかな雰囲気となりました。

愛治の風物詩を守る姿が、いずれの行事も素晴らしく次の世代に引き継がれていくことを願わずにはられません。



PICK UP!

「清水保育所」 統廃合に向けて

今、愛治での子育てが変わろうとしている。町内保育所の再編計画による清水保育所廃園の日が間近に迫っている。通所する子どもが10人を切り、「同い年の子がいない」ということも珍しくない。少子化、高齢化の背景には、若者の都市での活躍による人口流出などさまざまな要因があると思うが、何十年とそこにあるのが当たり前と思っていた保育所の灯が消えようとしている。

今はただその歴史を振り返り、思い出とともに後世へ語り継ぎ、新たなスタートもまた最善の変革であったと歴史に刻んでいくことしかできない。



小学校に併設されていた昭和30年ころの清水保育所



昭和60年ころの清水保育所

幼児保育を担う保育所がいつ頃始まったのか遡って調べてみると、戦中戦後の農繁期に部落の寺院、公会堂や集会所などで季節的に開設された託児所がその始まり。旧泉村が3か所の保育所を開設したのを皮切りに、地域住民からの要望が多かった旧近永町でも4カ所、旧三島村では開所の準備が進められていた。

昭和30年3月町村合併で広見町が誕生してからは保育所未設置地区への設置が進められ、9カ所の保育所を整備。当時の県内において同規模の町村と比べて、その設置数は群を抜いていたらしい。



愛治はというと、まず西野々公会堂を借りて昭和31年10月に定員50名の「愛治保育所」として認可され、その後、地域の保育所設置促進会の陳情もあり、昭和32年に愛治小学校の一部教室を借り、「清水保育所」として開設、昭和33年3月に初めての卒園児を送り出した。その年の7月に定員60名の保育所として認可されたが、当時の愛治小学校校舎は明治初期の建物で老朽化が著しかったことから、地元では保育所の新設工事を願う声が高まっていた。現在の場所に昭和36年3月、新しい保育施設が完成し、愛治保育所と統合した。



サイレン山へ遠足（昭和60年ころ）

現在の近代的な施設に建て替わったのは平成4年。広い園庭、大きなプール、季節の野菜が育てられる畑まであった。町内でこれほど立派なプールを完備している保育所はなく、子どもたちは年齢に応じたプール遊びで、小学校入学までにしっかり数メートル泳げるようになる子が多い、というのが自慢だった。

現在は、園児10名を下回り、小さな小さな保育所となっているが、運動会や敬老行事など

地域行事への参加、地元の方の畑で体験する芋ほり、元気な声で練り歩くおまつりごっこなど、子どもたちの声が響く愛治がこれからも続いていくと漠然と思っていた。

しかし、時代は移ろい、共働きの家庭やさまざまな事情を抱える家庭が増え、「保育所」という子どもたちの居場所に対して、親や子を支えるための“保育サービス向上”を求める声があると聞く。

地域の未来について真剣に考える

地域の保育所がなくなると〇〇が△△になる！？



「町内の保育所7園を3園に統廃合する」という町の方針が地域に飛び込んできたのは、令和2年の春。清水保育所は近永・好藤・小倉と統合し、近永地区に新たに建設される施設で令和5年度から運営されるという。

令和2年6月16日に開催された「区長・組長会」（感染症対策のため区長のみが参集された）で、初めて住民に対して説明がなされた。当時の自治会長から「地域住民としては当然存続を望む声があがるだろう。説明が不十分で到底賛同できない」と発言があり、それに対して「保護者の要望に応える新たな保育サービスを検討しなければならないためご理解いただきたい」と町から回答があった。その後、各保育所では保護者説明会が同年10月に行われ、のちに「保護者からは概ねご理解いただいた」と説明があった。

令和2年度愛治地区町長陳情で保育所統廃合について住民説明会を開くよう要望したところ、令和3年6月22日に2回目となる住民説明会が区長・組長会の議事の1つとして行われた。区長5名・組長20名のほか一般住民32名の参加があり、50分間あたり質疑応答がなされた。時間に限りがあり、発言を求める挙手が相次ぐ中終了し、参加者からは不満の声も聞かれた。

清水保育所では保護者の意見交換会が同年10月に実施。3回目となる住民説明会（懇談会）が同年12月4日に開催され、町議を含む住民16名が参加。新園までの通園距離が遠くなることから、遠距離通園費補助制度の創設や子育て世帯の

定住を促進するための支援補助金の創設など、町としての対策案が提示された。それに対し住民からは、統合した保育所で共に遊び学んだ友だちと小学校入学時には離れ離れになることに対して子どもたちのケアはどうするのか？小学校入学時に近永地区へ引越す家庭が出るのでは？保育所までの通園バスできないか？などの意見が出た。

令和4年2月9日には4回目の説明会が開催され、各区長をはじめ住民10名が参加。町長から前回住民側から出ていて意見に対する町の考え方について説明を受けた。通園バスについては検討する予定はなく、通園時間を“お子さんと保護者との大切な時間”、登園時は保護者と保育者とのコミュニケーションの場であると捉えているため、直接保護者が登園させることが大切だと説明があった。それに対し、チャイルドシート購入の補助や中古品の貸し出し等、新たな仕組みづくりをしてほしいと発言があり、「よい意見だ」として検討されることとなった。

新たな保育サービスとして、保育時間の延長、日曜保育や病児保育など、子育て中のご家庭にとっては、やさしいサービスが検討されているが、これまで「子は地域の宝」とされ、地域全体で見守り育てるという考え方が根付いていた保育の歴史が変わろうとしており、「地域とともにある保育所」の存在価値を改めて感じ、一抹の寂しさを感じずにはいられない。

近年、統廃合により消えてきた“そこにあるのが当たり前”のものたち。しかし、失ってもなお、愛治地区は助け合いながら、あきらめず、時には新たな取り組みに挑戦してきた。それはこれからも変わらないと信じている。

さて、廃園後の清水保育所施設。どう有効活用していきましょうか。



愛治自治会

愛媛県北宇和郡
鬼北町大字清水1043番地1
事務局
愛治公民館
電話:0895(46)0001
FAX:0895(46)0909
電子メール:
aiji.k@town.kihoku.ehime.jp

愛治公民館のホームページ

<https://www.town.kihoku.ehime.jp/site/aiji-k/>



善家	末廣	橋本	奥野	境	松岡	片山
恵美	健	定典	省三	基司	長造	洋

編集委員

委員長
委員

シトラスリボン運動

愛治自治会も賛同しています！

『シトラスリボン運動に取り組む理由』

差別や偏見のない地域を守っていくことで、検査が必要かなと思われの人が、躊躇なく安心して受けていただき、いち早く対策を打つことができると考えます。検査で陽性者が出た・出ないということ自体より、「その後」に確かな対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると思います。』
(シトラスリボンプロジェクトフェイスブックより要約)

愛治自治会ではこの運動に賛同し、誰もが安心して住み続けられるよう、「優しい声掛け」を推奨しています。



「ただいま」「おかげり」って言いあえるまちはきつと、だれにとつても暮らしやすいまちであるはずです。
“コロナ禍”の「その後」も視野に入れて、暮らしやすい地域をめざしませんか？

地域のみなさんが安心して行事に参加されたり、おしゃべりを楽しんだりする日が一日も早く訪れます。



すように。愛治自治会は「今できること」を精一杯やり続けます。地域のために、未来のために。

愛治地区まごころ銀行ご寄附のお礼

令和3年3月からの寄附者について掲載させていただきます。ご芳志を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

愛治地区を発展させるための活動費並びに地域住民の皆さんが利用していただける設備等の整備費に活用させていただきます。ありがとうございます。

高田 克明 様
(西野々)
植田 巳津彦 様
(愛知県)
松浦 陽子 様
(大宿)